

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.11.1-7

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

➤ 1日 月曜

ヨブ記

- 16:1 ヨブは答えて言った。
16:2 そのようなことを、私は何度も聞いた。
あなたがたはみな、煩わしい慰め手だ。
16:3 むなしいことばに終わりがあろうか。
あなたは何に興奮して答えるのか。
16:4 私もまた、あなたがたのように
語ることができる。
もし、あなたがたが
私の立場にあったなら、
私はことばを連ねてあなたがたを攻撃し、
あなたがたに向かって、
頭を振ったことだろう。
16:5 私は口先だけであなたがたを強くし、
私のくちびるでの慰めを
やめなかったことだろう。
16:6 たとい、私が語っても、
私の痛みは押えられない。
たとい、私が忍んでも、
どれだけ私からそれが去るだろう。
16:7 まことに神は今、私を疲れさせた。
あなたは私の仲間の者を
ことごとく荒らされました。
16:8 あなたは私を、つかみました。
私のやせ衰えた姿が、証人となり、
私に向かって立ち、
面に向かって答えをします。
16:9 神は怒って私を引き裂き、
私を攻めたて、
私に向かって歯ざしりした。
私の敵は私に向かって目をぎらつかせる。
16:10 彼らは私に向かって口を大きくあけ、
そして私の頬を打ち、
相集まって私を攻める。



- 16:11 神は私を小僧っ子に渡し、
悪者の手に投げ込まれる。
16:12 私は安らかな身であったが、
神は私を打ち砕き、
私の首をつかまえて粉々にし、
私を立ててご自分の的とされた。
16:13 その射手たちは私を巡り囲み、
神は私の内臓を容赦なく射抜き、
私の胆汁を地に流した。
16:14 神は私を打ち破って、破れに破れを
加え、
勇士のように私に向かって馳せかかる。
16:15 私は荒布をはだに縫いつけ、
私の角をちりの中に突き刺した。
16:16 私の顔は泣いて赤くなり、
私のまぶたには死の陰がある。
16:17 しかし、私の手には暴虐がなく、
私の祈りはきよい。

ヨブに同情して始まった友人たちの助言でしたが、今はヨブを「煩わせ」「むなしい」思いにし、「立場」が逆ならば分からせてやりたいが…というような思いにまでさせてしまいました。ヨブは神が仲間をそうさせた（荒らされた）とまで感じ、神の責任とまで思っています。
人は辛いときにはそのような考えに陥ります。しかし、神の真理は違います。神様はヨブに知って欲しい御心と回復の祝福を用意して、待っておられたのです。
悪い方に悪い方に…考えずに、神の回復を信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 2日 火曜

ヨブ記



- 16:18 地よ。私の血をおおうな。
私の叫びに休み場所を与えるな。
- 16:19 今でも天には、
私の証人がおられます。
私を保証して下さる方は
高い所におられます。
- 16:20 私の友は私をあざけります。
しかし、私の目は
神に向かって涙を流します。
- 16:21 その方が、人のために
神にとりなしをして下さいますように。
人の子がその友のために。
- 16:22 数年もたてば、
私は帰らぬ旅路につくからです。
- 17:1 私の霊は乱れ、私の日は尽き、
私のものは墓場だけ。
- 17:2 しかも、あざける者らが、
私とともにおり、
私の目は彼らの敵意の中で夜を過ごす。
- 17:3 どうか、私を保証する者を
あなたのそばに置いてください。
ほかにだれか
誓ってくれる者がありますでしょうか。
- 17:4 あなたが彼らの心を閉じて
悟ることがないようにされたからです。
それゆえ、あなたは彼らを
高められないでしょう。

ヨブの苦しみは相当なもので、神からも周囲からも攻撃にさらされていると感じずにはいられません。もしも自分にそれだけの非があるのなら納得もできますが、「暴虐がなく」「きよい」との確信があるのですから、主よなぜですかと苦悶の祈りをつけて

いるのです。

神は義には恵みで報い、不義にはさばきで報いるはずで、だからこそ神は正しいと言えるのです。しかし、人はみな罪があるので「報酬は死」です。報酬ではなく賜物を求めましょう。「賜物はキリスト・イエスになる永遠のいのち」なのです。ヨブが求めている「とりなし」は主イエスにあるのです。

ヨブには自分を「保証」してくれる者がいないので、苦しみは増すばかりです。物笑いにされ、つばきをかけられるように侮辱され、絶望によって目やからだまでも影のように衰弱してゆきます。

保証してくれる…それはイエス様のほかにありません。人の保証では聖なる神の前にあてになりません。また私たち罪人憐れんでくださる心が必要です。イエス様の保証によって、どんな苦難のときにも、大胆に神の前に出しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 水曜

ヨブ記



- 17:5 分け前を得るために
友の告げ口をする者、
その子らの目は衰え果てる。
- 17:6 神は私を民の物笑いとした。
私は顔につばきをかけられる者となった。
- 17:7 私の目は悲しみのためにかすみ、
私のからだは影のようだ。
- 17:8 正しい者はこのことに驚き、
罪のない者は
神を敬わない者に向かって憤る。
- 17:9 義人は自分の道を保ち、
手のきよい人は力を増し加える。
- 17:10 だが、あなたがたはみな、
帰って来るがよい。
私はあなたがたの中に
ひとりの知恵のある者も見いだすまい。
- 17:11 私の日は過ぎ去り、
私の企て、私の心に抱いたことも
破れ去った。
- 17:12 「夜は昼に変えられ、
やみから光が近づく。」と言うが、
- 17:13 もし私が、
よみを私の住みかとして望み、
やみに私の寢床をのべ、
- 17:14 その穴に向かって、
「おまえは私の父だ。」と言い、
うじに向かって、
「私の母、私の姉妹。」と言うのなら、
- 17:15 私の望みはいったいどこにあるのか。
だれが、私の望みを見つけよう。
- 17:16 よみの深みに下っても、
あるいは、
共にちりの上に降りて行っても。

ここにヨブの絶望があります。すべて彼のことはには、ここでは希望がありません。「神は私を民の物笑いとした。」とあります。私たちもそのような恥をかいたという経験があるでしょう。どこにも希望がないようですが、それは人から受けた扱いであり、人からのことばだからです。

その扱いがまるで神様のしわざのように、ヨブは言いますが、実はそれは違います。彼らがヨブを非難したのは神様の御心ではないのです。後に神様は彼らの非を明らかにしておられます。

ですからヨブの絶望は神様までもが苦しめる存在であるかのように思い込んでしまったところにあります。人がどうであっても、神様は愛と希望のお方です。神様を避けどころとしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 木曜

ヨブ記



- 18:1 そこでシュアハ人ビルダデが
答えて言った。
- 18:2 いつ、あなたがたは
その話にけりをつけるのか。
まず悟れ。それから私たちは語り合おう。
- 18:3 なぜ、私たちは
獣のようにみなされるのか。
なぜ、あなたがたの目には
汚れて見えるのか。
- 18:4 怒って自分自身を引き裂く者よ。
あなたのために地が見捨てられようか。
岩がその所から移されようか。
- 18:5 悪者どもの光は消え、
その火の炎も輝かない。
- 18:6 彼の天幕のうちでは、光は暗くなり、
彼を照らすともしびも消える。
- 18:7 彼の力強い歩みはせばめられ、
おのれのはかりごとが彼を投げ倒す。
- 18:8 彼は自分の足で綱にかかる。
落とし穴の上を歩むからだ。
- 18:9 わなは彼のかかとを捕え、
しかけ綱は彼をつかまえる。
- 18:10 地には彼のための輪綱が、
その通り道には
彼のためのわなが隠されている。
- 18:11 恐怖が回りから彼を脅かし、
彼の足を追い立てる。
- 18:12 彼の精力は飢え、
わざわざが
彼をつまづかせようとしている。
- 18:13 彼の皮膚を食らおうとしている。
死の初子が彼のからだを

- 食らおうとしている。
- 18:14 彼はその抛り頼む天幕から
引き抜かれ、
恐怖の王のもとへ追いやられる。
- 18:15 彼の天幕には、
彼のものではない者が住み、
硫黄が彼の住まいの上に
まき散らされる。
- 18:16 下ではその根が枯れ、
上ではその枝がしなびる。
- 18:17 彼についての記憶は地から消えうせ、
彼の名はちまたから消える。
- 18:18 彼は光からやみに追いやられ、
世から追い出される。
- 18:19 彼には自分の民の中に
親類縁者がなくなり、
その住みかには
ひとりの生存者もなくなる。
- 18:20 西に住む者は彼の日について驚き、
東に住む者は恐怖に取りつかれる。
- 18:21 不正をする者の住みかは、
まことに、このようであり、
これが神を知らない者の住まいである。

ヨブに同情していた友人たちでしたが、苦しみはヨブの罪が原因だと主張するので、ヨブはそれには反論しますが、そのやりとりはやがて互いの非難合戦になってしまいます。

ビルダデは自論を主張してヨブを非難するために、様々な「悪者ども」の例を並べますが、後には神様からその動機をさばかれることとなります。あくまでも愛と謙遜を動機としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 金曜

ヨブ記



- 19:1 そこでヨブは答えて言った。
19:2 いつまで、あなたがたは私のたましいを悩まし、そんな論法で私を砕くのか。
19:3 もう、十度もあなたがたは私に恥ずかしい思いをさせ、恥知らずにも私をいじめる。
19:4 もし、私がほんとうにあやまって罪を犯したとしても、私のあやまって犯した罪が私のうちにとどまっているだろうか。
19:5 あなたがたがほんとうに私に向かって高ぶり、私の受けたそしりのことで、私を責めるのなら、
19:6 いま知れ。「神が私を迷わせ、神の網で私を取り囲まれた」ことを。
19:7 見よ。私が、「これは暴虐だ。」と叫んでも答えはなく、助けを求めて叫んでも、それは正されない。
19:8 神が私の道をふさがれたので、私は過ぎ行くことができない。私の通り道にやみを置いておられる。
19:9 神は私の栄光を私からはぎ取り、私の頭から冠を取り去られた。
19:10 神が四方から私を打ち倒すので、私は去って行く。神は私の望みを木のように根こそぎにする。
19:11 神は私に向かって怒りを燃やし、

- 私をご自分の敵のようにみなされる。
19:12 その軍勢は一つとなって進んで来、私に向かって彼らの道を築き上げ、私の天幕の回りに陣を敷く。
19:13 神は私の兄弟たちを私から遠ざけた。私の知人は全く私から離れて行った。
19:14 私の親族は来なくなり、私の親しい友は私を忘れた。
19:15 私の家に寄宿している者も、私のはしためたちも、私を他国人のようにみなし、私は彼らの目には外国人ようになった。
19:16 私が自分のしもべを呼んでも、彼は返事もしない。私は私の口で彼に請わなければならない。
19:17 私の息は私の妻にいやがられ、私の身内の者らにきらわれる。
19:18 小僧っ子までが私をさげすみ、私が起き上がると、私に言い逆らう。
19:19 私の親しい仲間のみな、私を忌みきらい、私の愛した人々も私にそむいた。
19:20 私の骨は皮と肉とにくっついてしまい、私はただ歯の皮だけのがれた。

ヨブは友人たちから非難され、彼らを「恥知らず」であり「いじめる」者と反論します。さらには神観までもゆがめられ、「敵のように」感じています。友人たちのように「あなたの苦難は罪があるからだ」と決め付ける態度は（因果応報や律法主

義）、同情と書いて言っている、ときには人間関係を断絶し共同体を破壊するところまで行ってしまうのです。

一緒に立場になって、同じ思いで共に主の御心を聞いてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 土曜

ヨブ記



- 19:21 あなたがた、私の友よ。
私をあわれめ、私をあわれめ。
神の御手が私を打ったからだ。
- 19:22 なぜ、あなたがたは神のように、
私を追いつめ、私の肉で満足しないのか。
- 19:23 ああ、今、できれば、私のことばが
書き留められればよいのに。
ああ、書き物に刻まれればよいのに。
- 19:24 鉄の筆と鉛とによって、
いつまでも岩に刻みつけられたい。
- 19:25 私は知っている。
私を贖う方は生きておられ、
後の日に、ちりの上に立たれることを。
- 19:26 私の皮が、
このようにはぎとられて後、
私は、私の肉から神を見る。
- 19:27 この方を私は自分自身で見る。
私の目がこれを見る。
ほかの者の目ではない。
私の内なる思いは
私のうちで絶え入るばかりだ。
- 19:28 もし、あなたがたが、
事の原因を私のうちに見つけて、
「彼をどのようにして
追いつめようか。」と言うなら、
- 19:29 あなたがたは剣を恐れよ。
その剣は刑罰の憤りだから。
これによって、あなたがたは
さばきのあることを知るだろう。

ヨブにとっては全ての人々が敵となってしまいました。また神からもせめられ、何よりその体は骨と肉が病み、皮にいたってははぎとれらるほどの苦しみです。なぜそのような目に…。それもまた苦悩を増

すばかりです。

その中で彼は「贖う方」を求めるに至りました。贖いとは、代価を払って救い出してくださいということです。そのような方がいたら、ヨブはどれほど救われたことでしょうか。

私たちには贖い主である主イエスがおられます。ただ漠然と「イエス様」というだけではなく、苦しい中でこそ、ヨブのようにその本質的な救いの恵を体験できるのです。贖いを感謝し、その力を信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 日曜

ヨブ記



- 20:1 そこでナアマ人ツォファルは
答えて言った。
- 20:2 それで、いらだつ思いが
私に答えを促し、
そのため、私は心あせる。
- 20:3 私の侮辱となる訓戒を聞いて、
私の悟りの霊が私に答えさせる。
- 20:4 あなたはこのことを知っているはずだ。
昔から、地の上に人が置かれてから、
- 20:5 悪者の喜びは短く、
神を敬わない者の楽しみはつかのまだ。
- 20:6 たとい彼の高ぶりが天まで上り、
その頭が雲まで及んでも、
- 20:7 彼は自分の糞のよう
とこしえに滅びる。
彼を見たことのある者たちは言う。
彼はどこにいるのかと。
- 20:8 彼は夢のように飛び去り、
だれにも彼は見つけられない。
彼は夜の幻のように追い払われ、
- 20:9 彼を見慣れていた目は再び彼を見ず、
彼のいた所はもはや彼を認めない。
- 20:10 彼の子らは貧民たちに
あわれみを請い、
彼の手は自分の財産を
取り戻さなければならぬ。
- 20:11 彼の骨が若さに満ちても、
それも彼とともにちりに横たわる。

ツォファルの主張は正しいようですが、後に主から「真実を語らず」と言われていることは見落とせません。ここで彼は「心あせる」思いに陥り、自分たちの因果応報の主張が聞き入れられないことで、「侮辱」されたと過剰反応してしまいました。そし

て自分には「悟り」があると思ひ込んでいます。

人間同士の言い争いとはこのようなものではないでしょうか。プライドのため、自分の立場主張を守るための争いとなっていくのです。悪者の滅びについて主張しても、ヨブの心に響かないのは当然です。

ローマ書には「12:18 あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。」とあります。自分のプライドや立場に関して、人と争っても誉にはなりません。

また「12:21 悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。」とあります。語る者には愛の配慮、聞く者には謙遜が求められるのです。そのような者が「悪に打ち勝つ」のです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

